

精華女短大 磯部 誠介
○青沼 純子

1. 我が国において家庭用漂白剤は主として塩素系漂白剤が用いられてきたが、繊維により、又使用条件により種々の欠点が明らかとなった。我々は新しい酸素系漂白剤としての過炭酸ソーダに着目し、その溶解性、漂白性、布の損傷度について実験と実用試験を行なったので報告する。

2. (1)溶解性：20°C, 30°C, 40°Cにおける3種の試料の溶解速度を測定した。過炭酸ソーダは他に比べて低温でしかも速い時間で溶解出来る二つの長所があることを知った。

(2)漂白性、損傷度：これらについては実験と実用試験を行なった。実験は各種繊維を洗濯試験機で1時間処理させた後自然乾燥する。併せて各種汚れに対する漂白試験も同様に行なった。実用試験は晒綿布でおむつを作製し、各家庭で過炭酸ソーダを使用して実用試験を行なった。以上の方法で洗濯した試験布について、比色計にて反射率を測定し、引張試験機にて引張強度を測定する。これらの実験により、過炭酸ソーダが漂白性にとり、損傷度が少ないことがわかった。

3. 以上の結果、過炭酸ソーダは低温溶解性、低温分解性、殺菌性、洗剤との配合性など今までの漂白剤より優れており、日本の家庭における洗濯条件でも十分漂白効果が認められる新しい酸素系漂白剤で広い用途が考えられる。今後残された問題として動物性繊維に対する漂白があげられる。